

御坂山塊の稜線をつなげたい・・・かな
大石峠～節刀ヶ岳～鍵掛峠

実施日 2015年4月26日(日)
天候 晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 齋恵美子、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、石原勝正、滝澤きよの、石附恵理子 計8名
費用 電車3,440円(高尾起算) 計5,125円
 乗車券925円/乗車券760円
タイム 河口湖(8:43~50)大石峠登山口(9:15~20)休憩1216m(10:20~30)大石峠(11:10~20)節刀ヶ岳(12:26~13:00昼食)鬼ヶ岳(13:40~47)鍵掛峠(14:36~40)根場BS(15:40~16:14)河口湖駅(16:50~17:27)

この4月で一番の天気恵まれた山行となった。GW前で？人の少ない山を楽しめたのは良かったのだが・・・？

絶好のシーズンだが富士急車内は余裕、F&Aイトカぶり物キャラ？のハイランダーも同乗、車内も盛り上がっていたかな？

河口湖駅から(予約)で大石プチペンション村の大石峠登山口へ向かう。

以前は30分ほどのアプローチも今はクルマで登山口広場まで入れるのでとっても有難い。

荒れ気味に林道を登るが、導標に逆らって林道をそのまま進むと行き止りに。踏跡を辿って急斜面をトラバース



に右上する。更追って右へ回り込むように進み小沢を越して登山道に合流した。出だしから楽しみ過ぎ・・・？大石峠へは所々

に見られるスマイルも楽しみにしつつ、芽吹きも近い樹林の峠道をジグザグに順調に登る。

草原の大石峠は気持ち良い、雲を纏って頭だけの富士にも挨拶。

一息入れて、左へ尾根歩き



になる、小さく登降をして、1608(金堀山)を越す。前方樹間に節刀ヶ岳の盛り上がりが大きく見え隠れている。

おっと！前方からまたもトレランランナーとの行き違いだ。バラバラと延々と次から次へ。一応声掛けはしてすれ違わうが、この間の歩きは山の雰囲気も味わえずすっかり興ざめしてしまう。これで先週の丹沢と2週続きのトレラン遭遇だが、既存の登山道を団体で走り回るのは山と登山者には失礼千万である。登山道では全面禁止にした一い！

とまあ、その後は芽吹き始めたカラマツ林やバイケイソウの新芽など春の息吹を感じながら歩いて慰められた。

節刀ヶ岳山頂分岐からは眺めは良いが急登を終えて山頂に着く、富士は纏った衣も薄くなり雄大さも増してきた。

人も少なくのんびりと快適なランチになった。

分岐へ戻り鬼ヶ岳へ向かう。僅か借金山、十二ヶ岳への道がここで分かれる。

一旦下って急な登りを耐えてから鬼ヶ岳である。

山頂の鬼の角や耳に取り付けて写真ポーズ決めて、鍵掛峠へ右折する。気後急な下りは一気後には鞍部へ、その後はロープのある岩場数か所を慎重に通過する。



岩場が終わると鍵掛峠の導標を見る。眼下の根場の家並みは小さい、ここから約600を下ることになる。

下り始めると点々とミツバツツジが姿を見せ始め下山道でも飽きない工夫がされていた。芽吹きも濃くなって萌黄色も加わり、春を満喫して下る。

大堰堤を見て登山口の林道へ、根場ふるさと村を抜けバス停へ。

背後から春の装いになった富士山がすっかり姿を現し、我々を見守っていた。

帰路の電車ともラクチンで、とってもエクセレントな山行となりました。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・石原 勝正)

